

きそさき 議会だより

VOL. **73**
2012
平成24年11月1日発行



今回の表紙(ぬりえ)



南部幼稚園・保育園
たかはし しゅうたさん
の作品

おもな内容

- 第3回定例会 **2~5**
- 委員会報告 **6~7**
- ここが聞きたい【一般質問】 **8~10**
- 行政報告 **11~12**
- 議会日誌 **13**
- 議員トピックス **14**



平成24年

第3回

木曾岬町議会

定例会

第3回木曾岬町議会定例会は、9月10日から24日までの15日間の会期で開催されました。

今回の定例会には、平成24年度の各会計補正予算案ならびに平成23年度各会計決算、報告案、同意案、条例改正案など合わせて町長提出議案19件と報告案1件、同意案1件、請願4件および意見書4件が審議されました。

9月10日の開会日には、会期の決定を行った後に加藤町長から行政報告と町長提出議案19件の提案理由説明を受けました。続いて代表監査委員による決算審査報告が行われ、総括的な質疑の後に、各議案を常任委員会に付託して審議することを決定しました。次に報告議案が上程され、提案理由説明と詳細説明を受けました。続いて同意案1件を審議し、いずれも原案のとおり同意することを決定し、次に、請願4件を一括上程し審議により、いずれも原案のとおり採択されました。

14日、18日にはそれぞれ常任委員会が開催され、付託された議案の審議が行われました。(6・7ページ参照)

21日には一般質問が行われ、2名の議員が質問に立ちました。(その内容は「ここが聞きたい一般質問」を参照) また、一般質問の後に、付託された議案の審議結果を各常任委員長が報告し、その質疑が行われました。続いて、初日に説明を受けた報告議案を上程し議会への報告を終えました。

最終日の24日には、町長提出議案19件を一括上程し、討論・採決を行い、全議案ともに全会一致で原案のとおり可決されました。また、最後に発議案4件が提出され、国に対して意見書を提出することを可決し、第3回定例会を閉会しました。

議事内容

可決した議案

◎執行部提案

議件名(議案の内容)

■議案第42号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第2号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ18,200千円を追加し、予算総額を2,823,000千円とする補正予算です。今回の主な補正内容は次のとおりです。

- ・人権啓発講演会の開催経費
- ・町営火葬場休憩室修繕費
- ・防火水槽修繕費
- ・小・中学校緊急地震速報整備費など

■議案第43号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ40,506千円を追加し、予算総額を839,506千円とする補正予算です。

■議案第44号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ603千円を追加し、予算総額を86,603千円とする補正予算です。

■議案第45号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ17,269千円を追加し、予算総額を352,769千円とする補正予算です。

議件名(議案の内容)

■議案第46号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町土地取得特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ8千円を追加し、予算総額を3,308千円とする補正予算です。

■議案第47号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ1,000千円を追加し、予算総額を97,000千円とする補正予算です。

■議案第48号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ1,500千円を減額し、予算総額を257,500千円とする補正予算です。

■議案第49号 木曾岬町災害対策本部条例の一部改正について

※災害対策基本法の一部が改正されたことにより、本条例の一部改正を行うものです。

■議案第50号 木曾岬町防災会議条例の一部改正について

※災害対策基本法の一部が改正されたことにより、本条例の一部改正を行うものです。

■議案第51号 木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部改正について

※新たな寄附行為に対し、これを基金に積立てるにあたり、本条例の一部改正を行うものです。

議件名（議案の内容）

■議案第52号 木曾岬町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について
※健康保険法の改正により、高額介護合算療養費制度が施行されたことにより、本条例の一部改正を行うものです。

■議案第53号 平成23年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額2,870,090,707円、歳出総額2,656,680,963円、歳入歳出差引額213,409,744円、繰越財源27,873,000円、実質収支額185,536,744円の決算承認です。

■議案第54号 平成23年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額835,864,305円、歳出総額779,230,151円、歳入歳出差引額56,634,154円の決算承認です。

■議案第55号 平成23年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額85,232,180円、歳出総額83,957,508円、歳入歳出差引額1,274,672円の決算承認です。

■議案第56号 平成23年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額317,941,789円、歳出総額300,391,279円、歳入歳出差引額17,550,510円の決算承認です。

■議案第57号 平成23年度三重県桑名郡木曾岬町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額3,536,181円、歳出総額3,377,038円、歳入歳出差引額159,143円の決算承認です。

議件名（議案の内容）

■議案第58号 平成23年度三重県桑名郡木曾岬町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額99,267,940円、歳出総額96,009,361円、歳入歳出差引額3,258,579円の決算承認です。

■議案第59号 平成23年度三重県桑名郡木曾岬町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額259,668,859円、歳出総額256,418,716円、歳入歳出差引額3,250,143円の決算承認です。

■議案第60号 平成23年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計決算認定について

※収益的収支の総収益は168,441,524円、総費用は175,327,412円により、純損失6,885,888円となり、資本的収支の収入総額は2,698,500円、支出総額は12,128,620円で、収支差引の不足9,430,120円は過年度分損益勘定留保資金、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填した決算です。

報告案件

議件名（議案の内容）

■報告第3号 平成23年度決算に基づく木曾岬町健全化判断比率および資金不足比率の報告について

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律などの定めにより、平成23年度における健全化判断比率、資金不足比率などを報告するものです。

人事案件

議件名（議案の内容）

■ 同意第2号 木曾岬町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

※木曾岬町教育委員会委員3名の任期満了により、委員（継続2名・新規1名）を任命するにあたり議会の同意を求めるものです。

請願

議件名（議案の内容）

■ 請願第1号 「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める請願書

※未来を担う子どもたちの「豊かな学び」を保障することは、社会の基盤づくりにとって重要であることから、義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を要望する意見書を、政府関係機関に提出を求める請願書です。

■ 請願第2号 「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充」を求める請願書

※子どもたちの「豊かな学び」の保障にむけ、「教職員定数改善計画」の着実な実施と、未来を担う子どもたち一人ひとりを大切にされた教育を進めるため、教育予算の拡充を要望する意見書を、政府関係機関に提出を求める請願書です。

■ 請願第3号 「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める請願書

※すべての子どもたちの学ぶ機会を保障するため、保護者負担の軽減と就学・修学保障制度の拡充を要望する意見書を、政府関係機関に提出を求める請願書です。

議件名（議案の内容）

■ 請願第4号 「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める請願書

※子どもたちの安心・安全を確保するため、巨大地震などの災害を想定した防災対策の見直しをはじめ、総合的な学校安全対策の充実を要望する意見書を、政府関係機関に提出を求める請願書です。

可決した意見書

議件名（議案の内容）

■ 発議第4号 「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める意見書について

※この意見書は財務大臣あてに送付しました。

■ 発議第5号 「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充」を求める意見書について

※この意見書は文部科学大臣あてに送付しました。

■ 発議第6号 「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書について

※この意見書は文部科学大臣あてに送付しました。

■ 発議第7号 「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める意見書について

※この意見書は文部科学大臣あてに送付しました。

教育民生 常任委員会

9月14日 午前9時から開催



伊藤律雄 委員長

教育民生常任委員会が付託を受けた案件は、議案第42号の所管部分、議案第43号から議案第45号、議案第52号、議案第53号の所管部分、議案第54号から議案第56号の全9議案(補正予算案4件、条例改正案1件、決算認定案4件)で、委員4名出席のもと審議を行いました。

●質疑では多くの質疑が繰り広げられましたが、今回は平成24年度一般会計補正予算案および平成23年度一般会計歳入歳出決算認定案に関する質疑の内容を重点にご紹介します。

◎平成24年度

一般会計補正予算案

歳出の民生費関係の質問では、「社会福祉総務費の社会福祉協議会補助金が、事業費の増により増額となったが、内容は何か」との質疑があり、**回答**として、「シルバー人材センターが、社会福祉協議会に事業統合されたことにより、消費税分を増額しています」との回答がありました。

して、「シルバーより業務が午前中2時間、午後2時間と間隔が空く業務のため雇用するのが難しいとの申し出がありましたので、臨時職員でお願いすることとしました」との回答がありました。

◎平成23年度

一般会計歳入歳出決算認定案

教育費関係の質問では、「小・中学校の学校管理費で、防災に関する緊急情報システムが構築されたことだが、詳細な説明を」との質疑があり、**回答**として、「緊急地震速報を電子黒板、拡張ボードと連動させ、音声・掲示板などで確認できるようにするものです」との回答でした。次の**質問**では、「学校給食費で、給食の運搬をシルバー人材センターより変更とのことだが、変更の理由は何か」との質疑があり、**回答**と

歳入関係の質問では、「保育料の不納欠損は、2名とのことだが、何年度分か、また、この2名の方は、収入未済額に含まれているのか」との質疑があり、**回答**として、「不納欠損は平成17、18年度分です。また、この2名の方は、未収金には含まれておりません」との回答がありました。

歳出の民生費関係の質問では、「社会福祉施設費で、シルバー人材センターを増設されたが、駐車場に支障はでていますか」との質疑があり、**回答**として、「特に、苦情は聞いており

ません」との回答でした。次の**質問**では、「児童措置費では、子ども医療費が伸びているが、医療費を抑制するための、何か指導はしているのか」との質疑があり、**回答**として、「特に指導はしておりません」との回答がありました。

衛生費関係の質問では、「保健衛生費では、妊婦健診助成金は8名とのことだが、妊婦健康診査委託料は何名か」との質疑があり、**回答**として、「どちらも同じものですが、全体で33名の方で、内25名の、三重県医師会、海部医師会で健診された方は委託料で、残りの8名の方は、

これ以外で健診された方であり、助成金として支払っています」との回答です。次の**質問**では、「塵芥処理費では、ごみの量が増となった要因は何か」との質疑があり、**回答**として、「分別されていないこと、一般ごみに企業系のごみが混合されているのではないかと思われ、



増設されたシルバー人材センター

です」との回答です。次の**質問**では、「公害対策費では、放射線測定器は使用したのか」との質疑があり、**回答**として、「3月から公共施設5ヶ所において、毎月初めに測定をしております」との回答がありました。

教育費関係の質問では、「小学校では、不用額が多い要因は何か」との質疑があり、**回答**として、「平成22年度の繰越による工事請負費の残と非常勤講師の賃金が、県費で対応できたことによるものです」との回答がありました。

です」との回答です。次の**質問**では、「公害対策費では、放射線測定器は使用したのか」との質疑があり、**回答**として、「3月から公共施設5ヶ所において、毎月初めに測定をしております」との回答がありました。

教育費関係の質問では、「小学校では、不用額が多い要因は何か」との質疑があり、**回答**として、「平成22年度の繰越による工事請負費の残と非常勤講師の賃金が、県費で対応できたことによるものです」との回答がありました。

総務建設 常任委員会

9月18日 午前9時から開催



中村富男 副委員長

総務建設常任委員会が付託を受けた案件は、議案第42号の所管部分、議案第46から議案第51号、議案第53号の所管部分、議案第57号から議案第60号までの全12議案(補正予算案4件、条例改正案3件、決算認定案5件)で、委員長が病欠のため副委員長の代行により委員4名出席のもと審議を行いました。

●質疑では、多くの質疑が繰り広げられましたが、今回は平成24年度一般会計補正予算案および平成23年度一般会計決算認定案に関する質疑の主な内容をご紹介します。

●平成24年度

一般会計補正予算案

歳入関係の**質問**では、「総務費(補助金の事業調整制度補助金)は、後から交付をつけるものか」との質疑があり、**回答**として、「従来より、県営事業を補完するもので、事業内容が固まった時期に補正しています」との回答がありました。

歳出の農林水産業費関係の**質問**

では、「農業振興費の農用地利用集積特別対策事業はどのような計画か」との質疑があり、**回答**として、「国の補助制度として、耕作放棄地を解決しようとする政策であり、大きな担い手を育成して、田畑の荒廃を防いでいこうというものです」との回答がありました。

消防費関係の**質問**

では、「消防施設の修繕料は、防火水槽の修理とのことだが、内容は何か」との質疑があり、**回答**として、「防火水槽への引込管の漏水修理を行うものです」との

回答がありました。

●平成23年度

一般会計歳入歳出決算認定案

歳入関係の**質問**では、「軽自動車税で不納欠損がでているが、税金を納めないと車検が受けれないと思うが、何故、これだけの欠損がでてくるのか」との質疑があり、**回答**として、「不納欠損の内容は、財産の無い方が2名、所在不明者が3名、出国者が10名という状況ですが、無車検で使用されていた可能性があると思います」との回答でした。次の**質問**では、「物品売却収入では、鉄くずを売却したとのことだが、何故そのようなものが出てきたのか」との質疑があり、**回答**として、「年度末の庁舎清掃により、不用となったスチール棚などを売却したものです」との回答がありました。

歳出の農業費関係の**質問**

では、「農業振興費の経営体育成支援事業補助金について、説明願いたい」との質疑があり、**回答**として、「国の制度であり、新規就農者の方が受けられる助成制度として、事業費の1/2が補助されるものです」との回答がありました。

土木費関係の**質問**

では、「道路橋梁維持費の橋梁長寿命化は、どついつ状況なのか」との質疑があり、**回答**として、「橋梁236橋の内、主要路線の11橋を対象に点検を行った結果、3橋が損傷のため改修を要することとなりました」との回答がありました。



点検を行った橋

みんなが
聞きたい

一般質問

この記事は、通告順に掲載し、議員本人が作成した原稿を

議会広報常任委員会が編集したものです。

なお、掲載文は紙面の都合で要約されておりますが、

一般質問の全文は

木曾岬町議会会議録（北部公民館にて公表で
ご覧いただけます。

町政のゆくえは…

2名の議員が質問

ページ数 9 — 1番議席 三輪一雅議員

- 防災について
- 行政改革について

ページ数 10 — 8番議席 伊藤 正議員

- 町政懇談会での声に対策を
いじめる問題について

Q&A



一般質問



1番議席 **三輪一雅** 議員

防災について 現在の取り組みは？

新たな防災計画を進めています

町長

質問

防災に関しては昨年の3・11以降、議論も多くなされているところですが、新たな防災マップや防災マニュアルの策定を進めていくとのことでしたが、その後の進捗状況はいかがでしょうか。

特に地震に関しては甚大な被害が予想される新たなシミュレーション結果が公表されてきていますが、国や県、他市町との広域的な防災に関する取り組みは、以前より進んでいますでしょうか。

答弁

東日本大震災以降、津波対策が特に最優先で取り上げられ、当町でも小中学校の校舎以外に高層の公共施設が無いため、民間企業さんの協力をいただいて3階建ての高さを有する一時避難所の指定を行わせていただいたところであります。

現在、避難所を兼ねる複合型施設や水防センターの建設計画はありますが、十分とは言えず避難所を兼ねる公共施設の計画的な適正配置についてなどを、今後

の基本計画の中で盛り込む必要があると考えています。

また、避難行動への資料としてハザードマップの作成を業者発注したところであり、浸水予測図、避難所の場所、避難所の高さ、主要な地点の標高などを表示したものとなり、年内配布を目指しております。

広域的な取り組みとしては災害時応援協定がありましたが、平成23年11月より広域支援体制の提案を受け、県と市町が迅速かつ的確に対応できる体制の構築を目指し、三重県、市長会、町村会、各市町の防災主管課長で構成する連携会議を設置しました。県が市町間の連絡調整を必要に応じて、県職員派遣など被災状況に応じた応援体制を行なう協定書を作成しており、今後は三重県災害時応援協定書実施細目を策定する予定です。

また、桑員地域の2市2町における危機発生時の相互応援協定に関する協定の計画などを、本年度末を目途に策定中です。

行政改革に向けたプロジェクトチームの現在の取り組み状況と今までの総括についてお聞きしたい

団体補助金の見直し、人材育成、危機管理の対応をテーマとして取り組んできました。今後、最終的な報告をさせていただきます

町長





8番議席 伊藤 正 議員

町政懇談会での声に対策を

要望内容を検討し推進を図る

町長

質問

町政懇談会での意見・要望に対する回答については、広報8月号で掲載されておりましたが、これ以外の、意見・要望についてお聞きします。

1. 中部保育園、農村集落多目的センター、北部公民館などの避難所は、低地で2階建てとなっており心配である。町北部に安心できる高台と避難所を考えていただきたいとの声がありました。

2. 各会場では、防災ステーションの早期完成を願望されていました。同時に認可の桑名市では、埋立工事が始まっていますが、当町はどのような状況になりますか。また、県道バイパス道路の早期完成を待望する声がありました。来年干拓地のわんぱく広場がオープンしますが、開通できるのでしょうか。

3. 中栄会場では、児童公園の整備は町内均一にすべきではとの声がありました。

4. 東部公民館会場では、要望のある坂路について、安全に通行避難できるよ

うにしてほしいとの声がありました。

答弁

1. 次期総合計画の中期に、避難所となり得る公共施設の適正な配置を盛り込んでいきます。

2. 防災ステーションの進捗は、地権者との用地立ち会いが完了しまして、今後は、用地買収となり、工事着手後2年で盛土工事が完成し、その後避難所を兼ねた水防センターの建設に町が着手することになります。また、わんぱく広場の開園は、もともと平成27年度を目途としており、それを前倒しされたもので、県道バイパスの供用が開園に影響することはありません。

防災ステーションあるいは県道バイパスにつきましても、そういったお話があったときには、議会の立場としてどういう経緯でこうなっているかを説明いただければ理解が得られると思っております。

3. 地域の実情や意見を反映した公園づくりを進めていきたい。

4. 地元の関係者からの確認で、このままでよいとの事でありました。

いじめの問題について

安心・安全な学校生活につとめる

教育長

質問

県下一斉に全小、中学校を対象とした、いじめのアンケート調査が実施されました。その現状と分析、そして対策などについてお聞きします。

答弁

小、中学校で9月初旬に実施しました。7月のいじめ事案以降、同じような報告を小、中学校よりそれぞれ1件ずつ報告を受けましたので、3点について学校長に再度指示をしました。

1. 教職員が研修を深め、子ども達の指導援助にあたること。

2. 教職員で指導観察のポイントを共有し、いじめの未然防止、早期発見につとめること。

3. いじめのサインをみつけた時は、組織的に早期対応につとめること。そして、人権擁護委員、青少年育成町民会議との連携を深め、未然防止につとめていきたい。



行政報告

要旨



加藤 隆 町長

町内の稲刈り作業も終わり、朝夕、秋の気配を感じる季節になってきたとは言え、いまだ残暑が厳しい日々が続いております。

そうした中で先般、「木曾岬町防災訓練」を実施し、およそ630名の方々の参加をいただいで、防災資機材の使用訓練や一時避難所までの避難訓練に取り組んでいただきました。

ご参加をいただいた皆さんやご協力を賜った各企業や関係者の方々に感謝を申し上げます。

万が一の災害に備えて、日頃から少しでも被害を減少させる方策を皆さんと一

緒に取り組んでいくことが、いかに大切な事かと改めて感じたところであります。

そこで、先般8月29日、内閣府が発表しました「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域などの第二次報告および被害想定の第一次報告」について、行政報告させていただきます。

津波高・浸水域などの推計の考え方は、2011年東北地方太平洋沖地震や世界の巨大地震の特徴などを踏まえ、大すべり域、超大すべり域を持つ最大クラスの津波断層モデルを設定し、海岸での津波高、陸域に遡上した津波の浸水域・浸水

深が推計されております。

被害想定は、第一次報告は県別、地域別に建物など被害と人的被害をそれぞれのケースを想定して発表されましたが、被害想定は第二次報告は、ライフライン被害、交通施設被害、生活支障などやその他の被害シナリオでの影響などを今年中に公表されるとお聞きしております。

そこで、今回の内閣府からの公表を受けての考え方でございますが、あらゆる可能性を考慮しての理論上最大となる南海トラフの巨大地震に関する津波高や浸水域、被害想定などであ

ることから、これらの数字の一つひとつに一喜一憂することなく、これを冷静に受け止めていただき、自助・共助の取り組みを引続き着実に進めていただきたいと思います。

三重県は、今回の国の想定は、千年、万年単位の間軸で捉えたものであり、次世代を見据えた災害の強いまちづくりを活かすべきものと受け止め、今すぐに行う地震対策は、むしろ「過去概ね100年から150年ほどの間隔をもって、実際に繰り返し発生し、大きな被害をもたらしてきたような地震」への対応と考え、「揺れ」

と「津波」から人的、物的被害を出さないことを目標に、ハード・ソフト対策を組み合わせながら、総合的な地震対策をとりまとめ、地域防災計画の改訂や新地震対策行動計画の策定に反映し、県民に示していくとのことでもあります。

三重県の地域防災計画では、本年度末に地震・津波対策編の中間報告を、平成25年秋頃に風水害等対策編の中間報告を、最終案は平成26年初め頃の見直しスケジュールで、新地震対策行動計画も地域防災計画見直しスケジュールに合わせての策定とお聞きしております。

当町におきましても、国および県の対策に合わせた地域防災計画への見直しと三重県新地震対策行動計画の行動に合わせた減災対策に取り組んでいくものとしております。

そこで、当面は、三重県が公表した津波浸水予測調査結果を活用したハザードマップなどのリーフレットを作成し、住民の方々の避難行動資料としていただきたいと考えるものであります。

また、町では関係機関や町内団体との災害時応援協定の締結や企業の協力をいただいで、一時避難所の確保、防災資機材の充実などと共に、河川防災ステーションに避難施設を兼ねる水防センターの設置計画、行政機能や生涯教育機能に防災機能と避難場所となりうる「複合型施設」の基本構想を昨年まとめ、本年度基本計画に進むことにしておりますが、基本構想をまとめる中で、審議会において災害時の避難所となり得る公共施設（地域コミュニティセンター）の適切な配置も検討す

るようにとの提言をいただいております。

これら安全・安心のまちづくりに万全を期するためにも、本年度から取組んでいます「第5次木曾岬町総合計画」の中に、このことを盛り込んでいきたいと考えているものでありますし、ハード面・ソフト面

共に着実に町民の安全・安心のための減災対策を推進していきませんが、何よりも大切なのは、町民皆さまの一人お一人が、万が一の災害時にまず身を守り、避難行動を家族で、あるいは自治会で、職場、学校で話し合っていたとき、常日頃からの行動を確認していただく事が最

も大切なことではないかと思えます。

今後とも、行政として町民の皆様の安全・安心に繋がる施策を展開していきませんが、皆さま方のさらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。



議会日誌

2012 7月

- 19日、24日、25日 ● 決算審査
- 23日 ● 三重県町村議会議長会理事会（多気町）に議長出席
- 26日 ● 健康づくり推進協議会に伊藤（律）教育民生常任委員長出席
- 30日 ● 三重県町村議会議長会定期総会（津市）に議長出席

2012 8月

- 2日 ● 部落解放をめざす会総会（桑名市）に議長出席
- 3日 ● 議会全員協議会
● 議会議員懇談会
- 7日 ● 木曾岬干拓土地利用検討委員会に伊藤（好）伊藤（正）議員出席
- 10日 ● 議会議員懇談会
- 15日 ● 戦没者慰霊祭に議員多数出席
- 16日 ● 社会福祉協議会中間監査に伊藤（正）議員出席
- 17日 ● 木曾岬町体育協会理事会に議長出席
- 23日 ● 国保運営協議会に伊藤（律）教育民生常任委員長出席
- 24日 ● 例月出納検査
- 27日 ● 公営企業・下水道事業運営委員会に伊藤（正）議員出席
- 28日 ● 桑名広域清掃事業組合定例会（桑名市）に議長出席
● 桑名・員弁広域連合議会定例会（桑名市）に議長出席
- 31日 ● 議会全員協議会
● 議会議員懇談会

2012 9月

- 3日 ● 議会運営委員会
- 5日 ● ごみリサイクル等推進協議会に議長出席
- 7日～8日 ● 木曾岬干拓土地利用計画について地元県議会議員へ要望
- 8日 ● 木曾岬町敬老会に議員多数出席
- 10日 ● 木曾岬町議会第3回定例会（初日）
- 10日～11日 ● 第3回定例会提出議案説明会
- 12日 ● 例月出納検査
- 14日 ● 教育民生常任委員会
- 18日 ● 総務建設常任委員会
- 21日 ● 第3回定例会（一般質問日）
● 議会全員協議会
● 議会議員懇談会
- 24日 ● 第3回定例会（最終日）
● 行政視察
- 26日 ● 三重県町村議会議長会理事会に議長出席
● 都市計画審議会に三輪、伊藤（律）議員出席
● 伊勢湾台風犠牲者慰霊祭に議員多数出席
- 29日 ● 木曾岬小学校運動会に議員多数出席

2012 10月

- 6日 ● 南部・中部幼稚園保育園運動会に議員多数出席
- 7日 ● 木曾岬神社秋季例祭に議員多数出席
- 10日 ● 議会広報常任委員会
● 木曾中フェスティバル（体育）に議員多数出席
- 11日 ● 木曾中フェスティバル（文化）に議員多数出席
● 例月出納検査、定期監査（対象：財政援助団体）
- 14日 ● 第49回町民体育祭に議員多数出席
- 15日 ● 障がい者計画策定委員会に三輪議員出席
- 17日 ● 議会広報常任委員会

みなさまの
ご意見を
募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。また、要望など、何でも結構です。

ご意見、ご質問をお寄せください。

提出先

議会広報常任委員会
（議会事務局）

TEL 68-6108

議会をぜひ、
傍聴にきてください。

議会は、どなたでも自由に傍聴することができます。

次回、12月定例会、本会議の予定です。

- 12月11日(火) 午前9時 開会、議案上程
- 14日(金) 午前9時 一般質問
- 18日(火) 午前9時 議案採決、閉会

なお、日程などは変更する場合がありますので、議会事務局まで、お問合せください。



問合せ先

議会事務局 TEL 68-6108

議員トピックス



行政視察を実施

9月24日、木曾岬町議会第3回定例会の閉会後に、行政視察として経年劣化が危ぶまれる下水道処理場の視察を行いました。

町の下水道は、農業集落排水事業と公共下水道事業で平成元年4月に供用開始された北部地区を皮切りに、平成5年11月に供用開始された東部地区で、町内一円の下水道整備が完了しました。

しかし、整備後20年以上経過し、各施設とも経年劣化が進む中、西部地区と東部地区のクリーンセンターの施設状況を視察しました。

事業名	処理区	供用開始
農業集落排水事業	北部地区	平成元年 4月
	北東地区	平成2年 4月
	西部地区	平成3年 7月
	南部地区	平成4年 6月
公共下水道事業	東部地区	平成5年11月



編集後記

ノーベル賞を受賞した山中伸弥教授。

iPS細胞の研究は今後の医療を変えるといわれています。

「国の支援が無ければ受賞はできなかった、日本という国が受賞した賞だと感じています。」と国への感謝の気持ちを伝えていました。

ところが、現実には厳しかったようで、当初の研究資金より1/3程度に減額させられていたことも報じられていました。研究資金を集めるためにフルマラソンに出場し、カンパを募ったりもしていたそうです。

目標や信念を持って行動している人は、道を切り開く力を持っていると実感させられ、筆者も身が引き締まる思いとなりました。

ここに、第73号の議会だよりをお届けします。紙面へのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会広報常任委員会一同